

2021年9月1日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

再生可能エネルギーファンド創設に向けた会社設立について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、再生可能エネルギーに投資するファンド（以下 本ファンド）創設に向けて、賛同するパートナー企業と共に「Zエナジー株式会社」（以下 新会社）を設立いたしました。

1. 新会社設立の背景・目的

MUFG は、世界が直面している最も深刻な問題の一つである気候変動への対応を牽引するため、2021年5月に「MUFG カーボンニュートラル宣言^[1]」を発表し、金融機関として、お客さまの脱炭素化に向けた取り組みやイノベーション技術への支援に積極的に取り組んでいます。

日本における再生可能エネルギー（以下 再エネ）は、固定価格買取制度（FIT制度）の下で加速度的に普及が進み、政府のカーボンニュートラル宣言を受け、再エネ拡大への期待がますます高まっております。MUFGはグローバルベースで培ってきた再エネ分野へのファイナンス実績、案件精査ノウハウやネットワークを活用し、自立した再エネ市場構築に向けたアプローチが重要であると判断し、再エネ分野への主導的・能動的な貢献を目指し、本ファンドを創設することといたしました。

当行は、本ファンドの創設に際して、再エネ分野における事業会社・他金融機関の専門的知見を結集すべきと考え、今般、本ファンド創設に賛同いただいたパートナー企業8社と、本ファンドの事業運営を行う新会社の設立について、合意するに至りました。株主となりますパートナー企業は、新会社への出資と合わせて、各社のノウハウ・ネットワークを最大限活用して、当行と共に本ファンドの創設、運営の支援を担ってまいります。

本ファンドの事業運営においては、再エネ電力を「つくる」ことに加え、再エネ電力の「小売」、MUFG及びパートナー各社、関係先での再エネ電力需要をきっかけとした再エネ電力を「つかう」までを一気通貫で行い、再エネの普及に貢献してまいります。

2. 新会社の概要

名称	Zエナジー株式会社
設立日	2021年9月1日
代表取締役社長	安岡 克己
所在地	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル
設立時資本金	2億円（含む資本準備金）

株主（五十音順）	コアパートナー ^[2] ：NTTアノードエナジー株式会社、 大阪ガス株式会社、株式会社三菱UFJ銀行 パートナー：株式会社常陽銀行、東京海上日動火災保険株式会社、 株式会社百五銀行、三菱重工業株式会社、 株式会社三菱総合研究所、株式会社ゆうちょ銀行
事業内容	再生可能エネルギーファンドの創設、事業運営

^[1] MUFG カーボンニュートラル宣言については、以下のリンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf

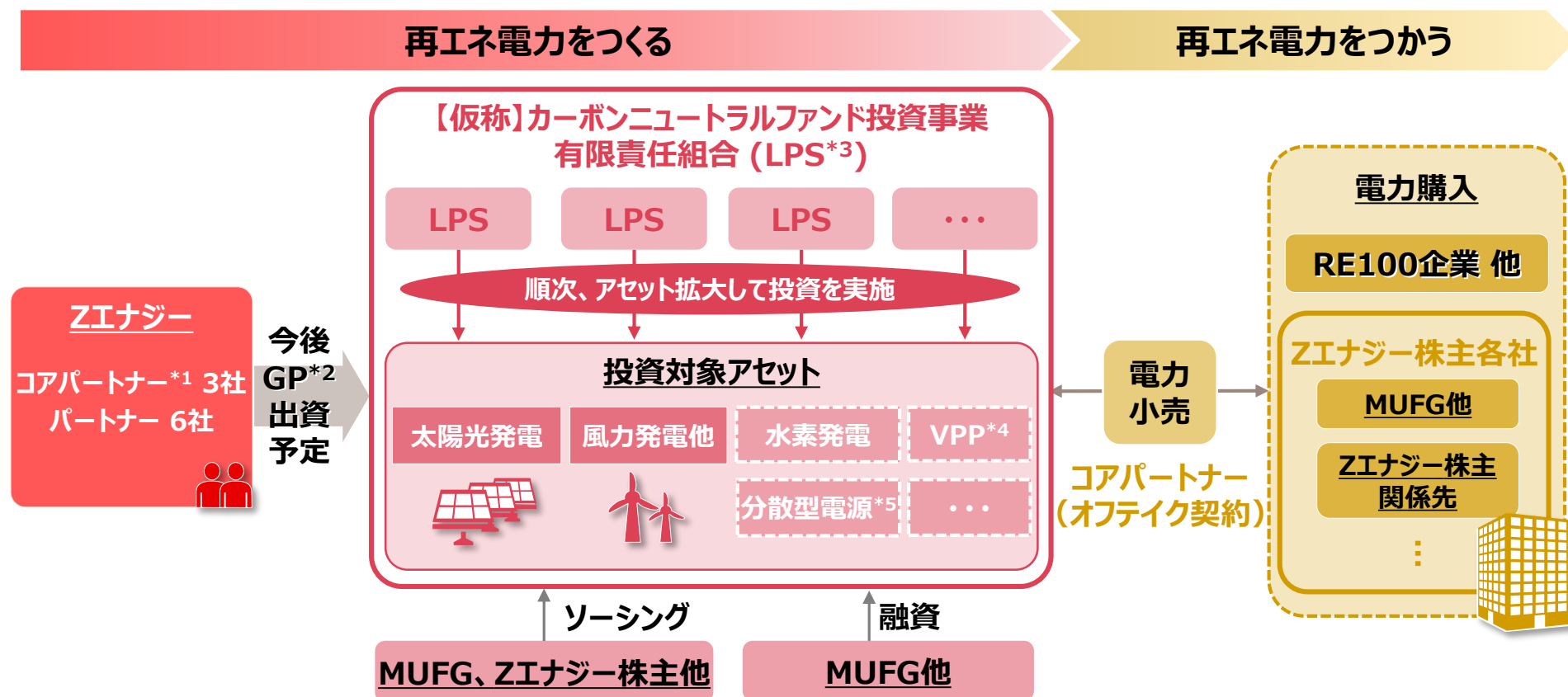
^[2] コアパートナーは、特に、ファンド全体の統括を牽引する役割を担うパートナー企業となります。

以 上

【ご参考】再生可能エネルギーファンドの全体像・特徴

– 再生可能エネルギーの電力を「つくる」から「つかう」までつなぐファンド

- 日本のカーボンニュートラルに貢献するファンドとして、再エネ電力を「つくる」発電事業に投資し、その上でZエナジー株主が自社や関係先で再エネ電力を「つかう」まで一気通貫まで実施することで、再エネ拡大の課題解決を目指します



*1 コアパートナーは、特に、ファンド全体の統括を牽引する役割を担うパートナー企業

*2 General Partnerの略。ファンドの運用主体となる無限責任組合員のことをいう

*3 Limited Partnershipの略。GPとファンドの出資者となる有限責任組合員によって構成される

*4 バーチャルパワープラントの略。多数の小規模な発電所や、電力の需要抑制システムを一つの発電所のようにまとめて制御を行うこと。「仮想発電所」とも呼ばれる

*5 電力需要地の近くに設置された複数の小規模な発電所によって地域の必要な電力を供給する自立・分散型のエネルギー供給システムのこと